



ひなだん

古座川町立古座中学校
学校便り 第6号
令和5年9月1日発行

一人でも多くの子どもの 「わかった」「できた」につなげたい！

今日から2学期がスタートします。この2学期は3年生の修学旅行をはじめ1・2年生の新人大会、郡陸上競技大会、郡駅伝大会、文化祭など、様々な行事が目白押し、生徒のみなさんの活躍の場がたくさんあります。頑張ってくださいね！

学校は、生徒のみなさん一人一人が、将来「なりたい自分」になるための力をつけていく場所です。2学期の様々な行事での頑張りは、きっとみなさんの力となっていくはずです。

その力を確かなものにしていくためにも、そして「なりたい自分」に近づいていくためにも、2学期は授業を大切にしていきましょう。

集中して授業を受けるために、以下のことをもう一度確認します。

(1)机の位置をそろえよう！

床の「印」に机をそろえ、まっすぐ並べよう！

(2)机の上を整理しよう

- 教科書・ノート・筆記用具(必要なものだけ)
(ワーク・ファイル) (タブレット)
- × 他教科の教科書・ノート・水筒・タオル
不必要な筆記用具 その他関係ないもの
- ※ 机の上や中を整理整頓しましょう！

(3)正しい姿勢で授業を受けよう

- ・伏せない・寝ない・横向きに座らない
- ・壁にもたれない

(4)無駄話をしない。

(5)話し手を見て聞く。

(6)個人で考える時間は自分一人で考える。

(7)自分にできることは精一杯頑張る。

もちろん、生徒のみなさんに求めるばかりではありません。

この夏休み、先生方でいろいろ話し合い、一人でも多く「わかった」「できた」と言ってくれる生徒のみなさんを増やしていくにはどうすれば良いのか意見を出し合いました。頑張りますね。

また、みなさんの「わかる授業」に向けて、2学期から新たに2名の支援員の先生が来てくれることになりました。

野口 照子 先生

加川 敏清 先生

です。

よろしくお祈いします。

9月行事予定



9月	1日(金)	始業式	身体測定	交通指導
	2日(土)	授業参観	親子レク	
	4日(月)	振替休業		
	5日(火)	修学旅行代金集金日		
			会議のため部活なし	5限まで
	7日(木)	検尿1次	(～8日)	
	8日(金)	1年道徳研究授業	部活なし	
	9日(土)	串本古座高校オープンスクール		
	13日(水)	3年修学旅行	(～15日)	
	15日(金)	交通指導		
	18日(月)	敬老の日		
	20日(水)	1・2年手話教室		
			検尿2次	(～21日)
	21日(木)	生徒会役員選挙		
	22日(金)	校内音楽鑑賞会		
	23日(土)	秋分の日		
	25日(月)	生徒会専門部会		
	26日(火)	2年思春期教室		
	27日(水)	職員会議		

『大人になれなかった弟たちに』

1年国語科では、2学期の最初に『大人になれなかった弟たちに』という教材を勉強します。作者は米倉齊加年(よねくらまさかね)さん。確か私が子供の頃、NHKの子供向けドラマで怪人20面相の役を演じていました。彼は俳優でありながら演出家や絵本作家としてもその多才ぶりを発揮していて、その彼の描いた絵本が教材となって掲載されているのです。

太平洋戦争末期、主人公「僕」の家族は母・祖母・妹・弟の五人暮らし。戦場に借り出された父に代わって一家を切り盛りする懸命な母の姿を見て、「僕」は防空壕を掘るのも必死に手伝い、生まれたばかりの弟・ヒロユキを可愛がり面倒もよく見ていました。母は、自分が食べるのも我慢して子ども達に食べさせていました。そのためお乳が出なくなり、配給されたたった一缶のミルクはヒロユキの大切な食べ物でした。アメもお菓子も何もなかった戦時中のこと、どんなに悪いことが分かっているながらも、「僕」はその甘い甘いミルクを何度も盗み飲みしてしまいました。空襲がひどくなって疎開した先でも、食べ物に困った母は自分の着物を近所の農家でお米に交換してもらってきます。しかし、とうとう母の着物もなくなってしまいます。そんな中、ヒロユキは病気になって入院します。そして10日程たって、ヒロユキは死んでしまいます。病名はありません。栄養失調です…。それでも母は泣きませんでした。しかし、用意してもらっていた棺が小さすぎて、ヒロユキが棺に入らないのを見た母は、「大きくなっていっただね」と言いながらヒロユキの膝を曲げて棺に収め、その時初めて泣くのでした…。

国語科が専門の私(井口)が、この教材を初めて授業したのは大学を出てすぐのことですから、もう30年以上も前のことです。以来、幾度となくこのお話を読んできているにもかかわらず、毎年この本を教室の子ども達相手に読んでいると、私は込み上げてくる嗚咽(おえつ)を堪えるのに苦労したものでした。

一体、この話のどこに涙していたのでしょうか？

この授業を終えた子ども達に感想を書いてもらうと、戦争の悲惨さへの悲しみや怒りを書いてきたものです。確かに戦争は憎むべきものであるし、

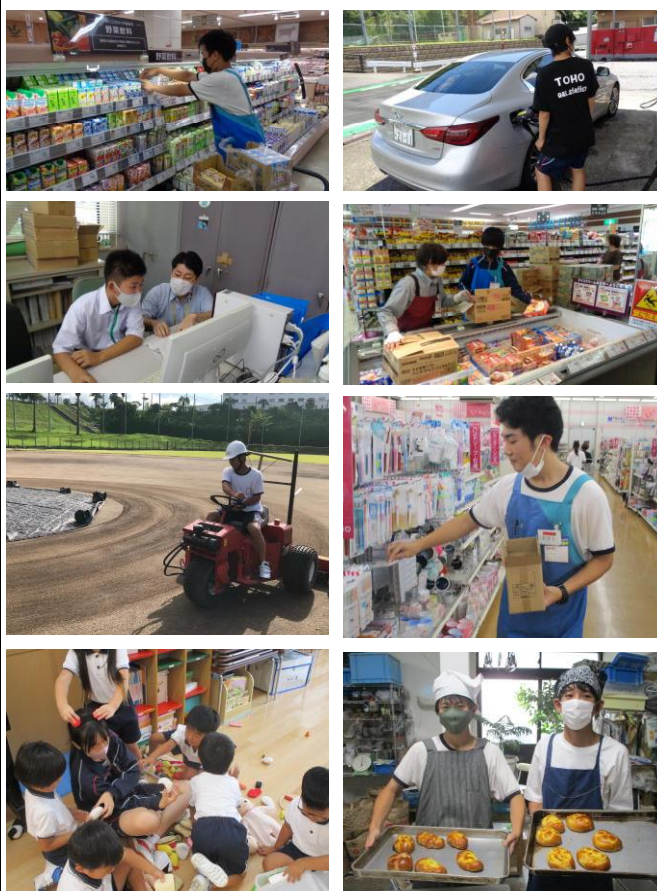
二度と起きてはならないものです。筆者の意図するこの本のテーマもそこにあるのかも知れません。

しかし、私が涙するのは…そして、この本を通して子ども達に読み取ってほしかったのは、「母の抱く悲しみ」だったのではないかと思います。食うものも食わず、あんなに懸命に頑張ってきたのにもかかわらず、それでも栄養失調で自分の子どもを死なせてしまった母の悔しさや悲しさに目を向けずして、この教材の放つ戦争への憤りに対する理解は、薄っぺらなものにしかならないのではないかと…と思ったのです。

1年生のみなさん、国語の授業でこの話をしっかり味わってください。2・3年生のみなさんもう一度、そして保護者のみなさんもぜひ一度手にとって読んでみてください。

職場体験学習

夏休み中の8月23日～25日、2・3年生が職場体験学習に取り組みました。



これから体験のまとめに入ります。お世話になった事業所のみなさん、ありがとうございました。